



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2018-2019年度 国際ロータリーのテーマ

2019年



インスピレーションになる

BE THE INSPIRATION

R.I 会長 バリー・ラシン

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 松島宏明 幹事 木村洋一

クラブ会報・情報委員会 飯塚荘一・大島千賀子・飯山順一郎

3月11日号

第3101回例会

(3月4日(月)第1例会)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 点 鐘 | 9. 会長の時間 |
| 2. 国歌斉唱 | 10. 幹事報告 |
| 3. 桐生市歌斉唱 | 11. 委員会報告 |
| 4. 四つのテスト唱和 | 12. 卓 話 |
| 5. 来訪者紹介 | 「ようこそ日本百名城の世界へⅡ」 |
| 6. ロータリー情報アワー | 澤田 匡宏 君 |
| 7. 結婚・誕生祝 | |
| 8. 乾 杯 | 13. 点 鐘 |

ロータリー情報アワー

会員研修副委員長 吉田栄佐君

9月は、基本的教育と識字率の向上月間とロータリーの友月間であります。この事について話をさせていただきます。2014年10月、RI理事会は9月を重点分野「基本的教育と識字率の向上月間」としました。地域社会で基本的教育を普及し、識字能力を高めるためのプログラムを支持し、地域社会の参加を促進・成人識字率の向上・教育における男女格差を減らすための活動・基本的教育と識字率向上に関連した仕事に従事する事を目指す専門職業人のため、奨学金支援を強調する月間であります。海外への支援としては、タイ、フィリピン、ネパールなどアジアの人たちに識字率向上のために学校を建設したり、教科書・文房具・机・椅子などを贈っているクラブもあります。さらに9月は、日本だけですが、ロータリーの友月間であります。RIの公式機関雑誌であり、同時に事業及び専門職務に携わる人の国際的雑誌であります「ロータリーの友」は、1952年4月第60区の大会が開催され、新年度から日本の地区は東日本と西日本の二つに分割が決定。この地区大会では、日本の2地区で共通の雑誌を発行することが決定しました。「ロータリーの友」は、これまでともに活動してきた日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関紙として企画されたものであります。現在、RIよりロータリー地域雑誌に指定され、ロータリークラブ会員は購読義務があります。国内の活動、RIの活動や方針の紹介を中心に、会員同士の意見交換、地区大会の講演や卓話の要旨などを掲載しています。2013年の規定審議会の結果、RIが指定した

地域雑誌を各会員は、郵送で送られる印刷物か、インターネットを通じた電子版のいずれかの選択肢を選べるものとなりました。日本では、2014年1月よりロータリーの友電子版が開始されました。「ロータリーの友」ウェブサイトでは、ロータリーの最新ニュース、「ロータリーの友」掲載記事の追加情報や写真の紹介をしています。ウェブサイトをもっているクラブとリンクしているので、メイクアップするクラブの情報を事前に手に入れることができます。(9月3日号再掲)

結婚祝

久保田寿栄君
岩崎 靖司君
野澤八千万君
腰塚 富夫君



誕生祝

丹羽あゆみさん
坪井 良廣君
岡部信一郎君
前原 勝良君
新井 智二君
小林 康人君
山口 正夫君
中山 賀司君



会長の時間

いよいよ3月ですね。日本人にとって3月は特別な月かもしれませんね。

先日お話ししました「民主主義」という本は戦後すぐに文部省より学生の副読本として出されたものが、文庫となって復刻されました。時を同じくして、野坂昭如の「絶筆」という文庫が出版されました。晩年リハビリを受けながら口実筆記という形で出版されたエッセイ集のような作品ですが、最後の文章が「日本に戦前が迫ってきている」と書かれていたのが印象的です。ある意味での危機感を多くの人が感じ初めているということでしょうか。話をロータリーに戻すと、先ほど唱和されました「四つのテスト」はいつでも自分の行動指針の一つとして大変役立っています。

《報告》

先日、第2分区Aロータリーデーとして公共イメージ向上に「使用済み切手で発展途上国の医療支援」の記事が桐生タイム스에掲載されました。

桐生4RCで持ち寄った使用済み切手を、桐生タイムス社を通じてJOCS(公益財団法人日本キリスト教海外医療協会)にお送りし、同協会が換金しバングラディッシュやタンザニア等の国々の現地医療スタッフに奨学金援助等を行います。

幹事報告

- ・桐生西RCより週報到着。
- ・例会終了後、定例理事会を開催致しますので、関係理事役員の方々のご出席よろしくお願ひ致します。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成31年3月4日)

総員69名:出席38名

平成31年2月18日例会修正出席率:81.15%

😊 ニコニコボックス

松島宏明君…前回例会はインフルエンザとなり、多くの会員の皆様にご迷惑をお掛け致しました。特に森副会長には会長代理を務めて頂きありがとうございました/吉田栄佐君…ロータリー情報アワーをやらせて頂きます/竹内靖博君…乾杯の音頭をとらせて頂きます/澤田匡宏君…つたない卓話をさせて頂きます/坂入勝君…澤田会員のお城の話楽しみです。お弁当注文ありがとうございました/水越稔幸君…澤田会員のお城の話楽しみです/腰塚富夫君、岩崎靖司君…結婚祝/中山賀司君、丹羽あゆみさん…誕生祝。

卓話



「ようこそ
日本百名城の世界へII」

澤田 匡宏 君

前回、2014年6月16日に「ようこそ日本百名城の世界へ」と題しまして卓話をさせていただきました。前回卓話時は、83城に登城していました。今回は、2018年9月4日に宮崎県の飫肥城に登城して日本百名城を完全登城致しましたのでそれ以来2度目の日本百名城に関する卓話をさせていただくことになりました。

思い返せば、2008年2月10日に五稜郭で日本百名城のスタンプラリーのスタンプを捺印したのが全ての始まりでした。その後、城に登城して2個、3個とスタンプを捺印していきますと百名城全てに登城しスタンプを捺印しなければならぬ気持ちになってしまいました。城に全く興味のない妻を無理やり誘い、城だけではなく各地の観光名所や温泉、美術館などを行程に取り入れて10年掛けて日本百名城を完全登城した次第です。ですから47都道府県の全てに行き、すべての県に宿泊しました。遠方は飛行機で行くため、九州、四国は全ての空港を発着しました。空港からはレンタカーで廻りますので47全ての都道府県の道も全て走ったこととなります。途中からは、各地で御朱印も集め始め今は御朱印帳も持参しています。百名城の中には、家族5人全員で行った城や4人、3人など夫婦と子供を連れて行った城も数多くあります。娘は妻同様、城には全く興味はありませんが息子2人は城に興味を持っています。私の影響を受けて長男は日本百名城と続日本百名城のスタンプラリーを去年から開始しています。

城巡りの醍醐味は、①事前の準備、②現地での発見、③帰った後のネットへの投稿、パンフレットや写真、グッズの整理と3度の楽しみがあることです。如何に効率よく廻れるか、各地の名物をいかにして食べるか、写真撮影のベストスポットはどこか、などを事前に考え現地で計画通り実行する。城グッズを買い求めることもその城に行った記念として楽しみがあります。百名城がなかったら一生行かないであろう土地も数多ありました。また、百名城に行ったために、大学時代の友人や仕事で付き合いのあった人との再会もありました。その全てが良い思い出です。

城作りには、選地、縄張、普請、作事と大きく分けると4つの工程があります。選地は自然の地形を巧みに利用してどこに城を建てるのが良いかを見極めることです。川を天然の堀にしたり、台地の先端など自然の崖を城壁にしたり、手間を掛けずに防御体制を構築しやすい土地を見極めることです。縄張は、城全体の設計図で選地した土地に人の手を加え如何に防御を堅固にするか考えることです。普請は縄張に沿って堀や石垣、土塁などの土木工事のことをいいます。石垣は穴太衆などの石垣づくりの専門集団が担います。普請には領内

の農民も多く駆り出されます。作事は普請で出来た土罫や石垣の上に櫓や塀、門、天守や御殿を立てる大工工事のことです。作事は専門の大工集団が行います。今のように、建設機械のなかった時代に、山の頂や川の中州などにあのような石垣と天守を築き上げたことには驚くばかりです。

城は、戦うための城から権威の象徴、泰平の時代には政務を司る役目へと時代と共にその役割を変遷してきました。現代は観光の拠点として地域のシンボルになっています。残念なことに城は封建時代の象徴とされ、明治維新で多くの城が解体され売却されてしまいました。太平洋戦争では、明治維新で取り壊しを免れた名古屋城、和歌山城、岡山城、広島城など旧国宝の城が空襲により消失してしまいました。上記の4城は戦後鉄筋コンクリートで再建されました。今、名古屋城などが元の木造で再建を進めています。日本の文化の象徴として木造で再建されることを願っています。

現在日本には、建築された当時のまま現存する天守が残る城が12あります。これらも今後も日本の貴重な文化遺産として保存されて行かねばなりません。12の現存天守のうち、姫路城、松本城、彦根城、犬山城、松江城の5城が国宝で姫路城は世界遺産にも選ばれています。二条城の丸御殿と沖縄の首里、今帰仁、中城、座喜味、勝連城も世界遺産です。その中でも私の一番のお気に入りの城は、宍道湖畔にそびえる無骨さを残す松江城です。

城の美しさと成り立ちの歴史に思いを浮かべながらの城巡りを皆さんにもお勧め致します。皆さんと城について語り合いながらお酒を飲めたら幸せです。ちなみに家では、私と2人の息子の3人で城談義をしています。横で妻と娘が城談義に入れず、2人で顔を見合わせて「いやね〜」と呟いています。

百名城に続き2018年4月6日から続日本百名城のスタンプラリーが開始されました。スタートから僅か8ヶ月で続百名城44城に登城しました。百名城と合わせて144城に登城済みです。続百名城を完全登城したあかつきには、また卓話の機会をいただければ幸いです。拙い話にお付き合い賜りありがとうございました。



本日の食事



美喜仁

✿本日のお花✿



【例会予告】

3月18日(月) ◆ 卓話 新入会員卓話
Randolph 留利子さん
金子 勇人君

◆ 食事 ランコントレ

25日(月) 31日(日)第2分区A IMに
振替の為、休会

31日(日) 第2分区A IM
I M:午後3時30分
ガバナー歓迎会:午後6時
場所:桐生プリオパレス

4月1日(月) 観桜会
点鐘:午後6時30分
場所:大龍

8日(月) ◆ 卓話 新入会員卓話
小金澤 啓人君

13日(土) 桐生ローターアクトクラブ
創立50周年記念式典
式典:午後4時~
祝賀会:午後5時~
場所:桐生プリオパレス

15日(月) 13日(土)桐生RAC創立50周年
記念式典に振替の為、休会